

ディケンズ・フェロウシップ日本支部

2010年 春季大会 プログラム

SPRING CONFERENCE 2010

JAPAN BRANCH OF THE DICKENS FELLOWSHIP AT OSAKA CITY UNIVERSITY

日時 Date 2010年6月12日(土) June 12, 2010

会場 Venue 大阪市立大学 杉本キャンパス Osaka City University at Sugimoto
法学部 11階大会議室 Meeting Room, 11th floor, Faculty of Law

理事会 12:15 ~ 12:45 (法学部 11階 711C号室)

開会 13:15

開会のことば
日本支部長 原 英一

第I部
研究発表
13:30 ~ 14:10

司会
広島大学教授 要田 圭治

『ニコラス・ニクル
ビー』におけるケイトの
役割

日本大学大学院博士後期課程
角田 裕子



Edith Dombey
Engraving designed by Phiz (1848)

第II部
博士論文研究報告会
14:20 ~ 15:50

司会
山形大学教授
中村 隆
報告者1
神戸大学非常勤講師
宮川 和子

報告者2
山形大学教授
中村 隆

報告者3
駒澤大学准教授
川崎 明子

第III部
特別講演 16:10 ~ 17:40

司会 東京女子大学教授 原 英一
「群衆、暴動、ディケンズ」
青山学院大学教授 富山 太佳夫

懇親会 18:00 ~ 20:00
会場：ウイステリア (学術情報総合センター 1F)
会費：5,000円

※会員以外の方も自由にご来聴ください。

研究発表 Paper

『ニコラス・ニクルビー』におけるケイトの役割

Kate in *Nicholas Nickleby*

角田 裕子 Yuko TSUNODA

『ニコラス・ニクルビー』(*Nicholas Nickleby*, 1838-39)は、チャールズ・ディケンズ (Charles Dickens, 1812-70)の全作品の中で、彼が幼少期に好んで読んだ18世紀の小説に最も倣った小説である。しかし18世紀的な小説には珍しく、『ニコラス・ニクルビー』では、主人公ニコラス・ニクルビー (Nicholas Nickleby)が精神的に成長している。ディケンズの作品で主人公の精神的成長を扱うのは、『デイヴィッド・コパフィールド』(*David Copperfield*, 1849-50)と『大いなる遺産』(*Great Expectations*, 1860-61)である。この二つの小説では、各々の主人公の成長にヒロインの女性が大きな影響を与えていることが頻繁に論じられているが、『ニコラス・ニクルビー』に関しては、あまり論じられていないように思われる。本発表では『ニコラス・ニクルビー』におけるニコラスの精神的成長を女性登場人物、とりわけ兄ニコラスを敬愛してやまないケイト (Kate Nickleby)を中心に考察してみたい。

博士論文研究報告会

報告者1	神戸大学非常勤講師	宮川 和子
報告者2	山形大学教授	中村 隆
報告者3	駒澤大学准教授	川崎 明子

最近の若手研究者にとって、博士学位の取得は、研究者として自立するための必須の条件になりつつあります。フェロウシップ会員の中にも、博士号取得を目指して研究を進めている方も多くおられることでしょう。そこで、今回の大会では、比較的最近博士号を取得した3名の会員に、その研究内容を報告していただき、学位取得のための研究をしている方々の参考にしていただくという企画を立てました。博士論文のテーマの設定、研究方法、論の進め方など、苦労したことも含めて、報告していただきます。

今回報告していただく3名の方々それぞれの博士論文の内容は、学会、学術誌などですでに発表されているものですが、全体としてまとまった形で接することは、多くの会員にとって初めてのことです。時間的制限のため、博士論文の内容を十分には説明できないと思われませんが、若手、ベテランを問わず、すべての研究者にとって刺激的で有意義なものであることは間違いありません。フロアの参加者からのご意見、質問などが出され、活発な質疑応答になることを期待しています。

特別講演 Special Lecture

「群衆、暴動、ディケンズ」Crowds, Riots, Dickens

青山学院大学教授 富山 太佳夫 Takao TOMIYAMA

今回の特別講演は、久方ぶりにフェロウシップに復帰された富山太佳夫氏に講師をお引き受けいただきました。富山氏は、『文化と精読』、『英文学への挑戦』、『笑う大英帝国』などを次々に発表され、活発な執筆活動を続けています。その超人的な活躍ぶりは、あらためてご紹介するまでもありません。昨年末に刊行された最新刊『おサル系の譜学—歴史と人種』(みすず書房)は、過去20年間にわたる評論を集めたものですが、ポストモダンの歴史意識に貫かれた、きわめて刺激的なものになっています。

今回は、『バーナビー・ラッジ』やGordon Riotsの話がされるとのことですが、富山氏らしい、挑発的な内容になることでしょう。会員以外の方もぜひご来聴ください。

ディケンズ・フェロウシップ日本支部事務局

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1 東京女子大学 現代教養学部英語文学文化専攻 原英一研究室内

電子メール: hara12cdfj48@ktb.biglobe.ne.jp

TEL 03-5382-6348 (原研究室直通)

杉本 キャンパス

■商学部 ■経済学部 ■法学部 ■文学部
■理学部 ■工学部 ■生活科学部

Sugimoto Campus



- | | |
|---|--|
| <p>1号館
(事務室 [職員課、経営管理課、学務企画課、研究支援課、第2部事務室])</p> <p>2 商学部棟</p> <p>3 経済学部棟</p> <p>4 法学部棟</p> <p>5 文学部棟</p> <p>6 経済研究所棟
(創造都市研究科、人権問題研究センター、証券研究センター)</p> <p>7 都市研究プラザ</p> <p>8 田中記念館</p> <p>9 保健管理センター</p> <p>10 河海工学実験場</p> <p>11 学術情報総合センター
(大学史資料室、事務室 [総務課、学術情報総合センター運営課])</p> | <p>12 理学部棟</p> <p>13 工学部棟</p> <p>14 生活科学部棟</p> <p>15 工作技術センター</p> <p>16 児童・家族相談所</p> <p>17 2号館</p> <p>18 全学共通教育棟
(事務室 (学生支援課))</p> <p>19 4号館</p> <p>20 基礎教育実験棟</p> <p>21 第1体育館</p> <p>22 第2体育館</p> <p>23-1 第1学生ホール</p> <p>23-2 第2学生ホール</p> <p>24 硬式野球場スタンド</p> <p>25 ゲストハウス</p> <p>26 新産業創生研究センター</p> <p>27 高原記念館</p> |
|---|--|



大阪市立大学 学術情報総合センター

懇親会のご案内

会 場： ウィステリア

(学術情報総合センター 1F)

会 費： 5,000 円

所在地 杉本キャンパス / 学術情報総合センター / 1F

連絡先電話番号 TEL 06-6605-3228

